

2008～2010 年度 中期事業計画

✈ ✈ Challenge2010 ✈ ✈

～2010 年の羽田空港再拡張に向けて、持続可能な成長基盤の構築を目指します～

スカイネットアジア航空株式会社(本社:宮崎県宮崎市、代表取締役社長:藤原民雄)は、2007 年 2 月に産業再生機構による支援を終了し、ANA グループおよび宮崎交通グループとのビジネスパートナーシップを強化するなど新しい経営環境を踏まえ、2008～2010 年度 3 カ年の「中期事業計画“Challenge2010”」を策定しました。

本事業計画期間を 2010 年の羽田空港再拡張に向けての企業価値向上の 3 カ年と位置付け、新路線開設による事業規模の拡大及び財務基盤の安定化を図ります。ANA グループとのパートナー関係を強化・活用し、路線拡張と機材導入を着実に実行します。また、燃油価格高騰など経済環境変化への対応としてコスト構造改革に取り組み、収益力の向上を目指します。

スカイネットアジア航空は、航空輸送の原点である「安全」を経営の最重要課題として取り組むとともに、お客様の利用しやすさの追求と地域社会への貢献を目指し、活力ある「好い会社」を創るためにチャレンジしていきます。

1. 基本戦略

2010 年に予定される羽田空港再拡張によるビジネスチャンスは大いなる飛躍の機会と捉え、2008 年度からの 3 カ年で持続可能な成長基盤の構築と企業価値の向上を目指します。

(1) 事業規模拡大と財務基盤安定化への取り組み

羽田空港再拡張までに、「新路線開設」・「機材導入」による事業規模の拡大、「収益力向上」・「累積損失解消」による財務基盤の安定化を図ります。

(2) ANA 提携強化

上記(1)実現のために、ANA とのビジネスパートナー関係を強化・活用します。

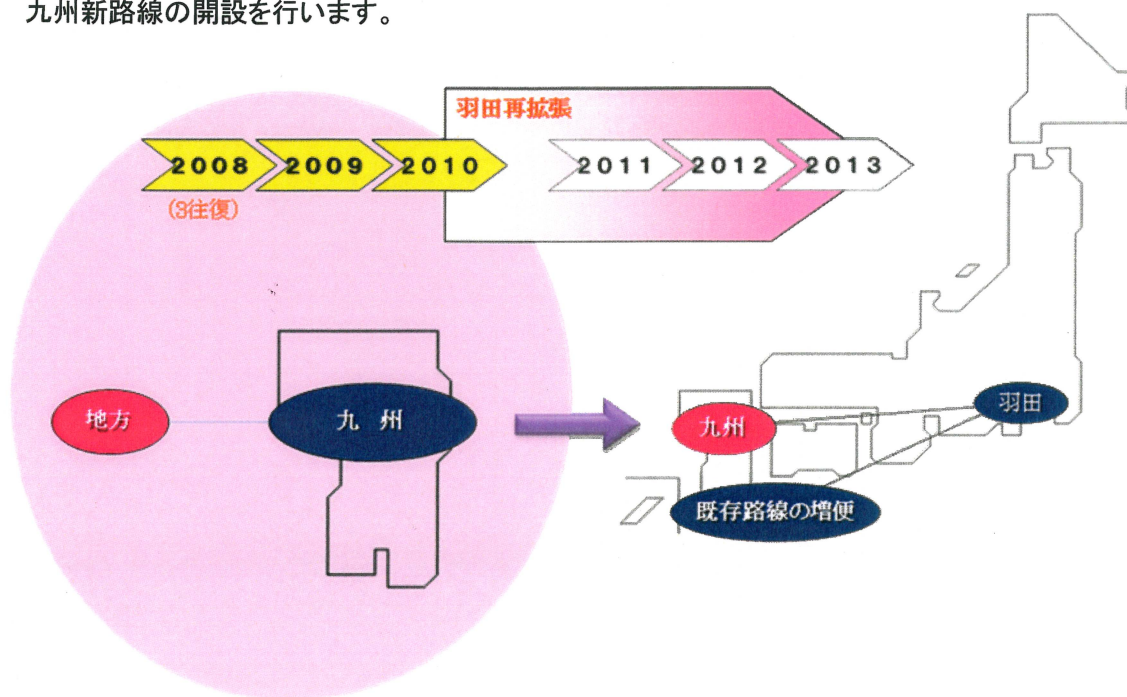
2. 成長戦略「主な戦略」の概要

(1) 新路線開設

① 2009 年度までに、九州から“Local-to-Local”の路線開設を行います。

※2008 年度は、3 往復を予定

- ② 2010 年 10 月に予定される羽田空港再拡張以降、既存九州路線の増便及び羽田空港からの九州新路線の開設を行います。



(2) 機材導入

路線の拡張、機材不具合発生時の対応を図るため、ANA とのパートナー関係を通じて、現行と同型の機材(B737-400 型機)を導入し、2010 年度には現在の 7 機体制から 10 機体制へ移行します。

(3) コスト構造改革

コスト削減を継続して行うとともに、業務及び体制の見直しなど構造改革に取り組み、経営を取り巻く外的環境変化へ柔軟に対応できる企業体質を確立します。

スカイネットアジア航空は事業規模拡大とコスト構造改革を推進し、2010 年度には営業収入 300 億円超、営業利益率 5%程度の企業規模を目指します。

【参考】

SNA 経営理念

～安全を経営の最重要課題とし、持続可能な企業経営と地域社会への貢献を目指す～
お客様の利用しやすい運賃とハートあるサービスの提供
地域社会および地域経済活性化への貢献
少数精鋭によるたゆまぬ経営努力と好い人材の育成

SNA 行動指針

- 1) 「安全」こそ経営の根幹、徹底して守り続けます
- 2) 「お客様」の満足を追求し、こだわり続けます
- 3) 「地域」と「社会」と共に歩み続けます
- 4) 「チームワーク」を大切に、常に「チャレンジ」していきます
- 5) 活力ある「好い会社」を創るため、明るく元気に努めます

以 上